

# 令和3年度第1回静岡県スポーツ推進審議会

期日 令和3年7月2日（金）  
時間 午後3時から  
会場 県庁別館9階特別第二会議室

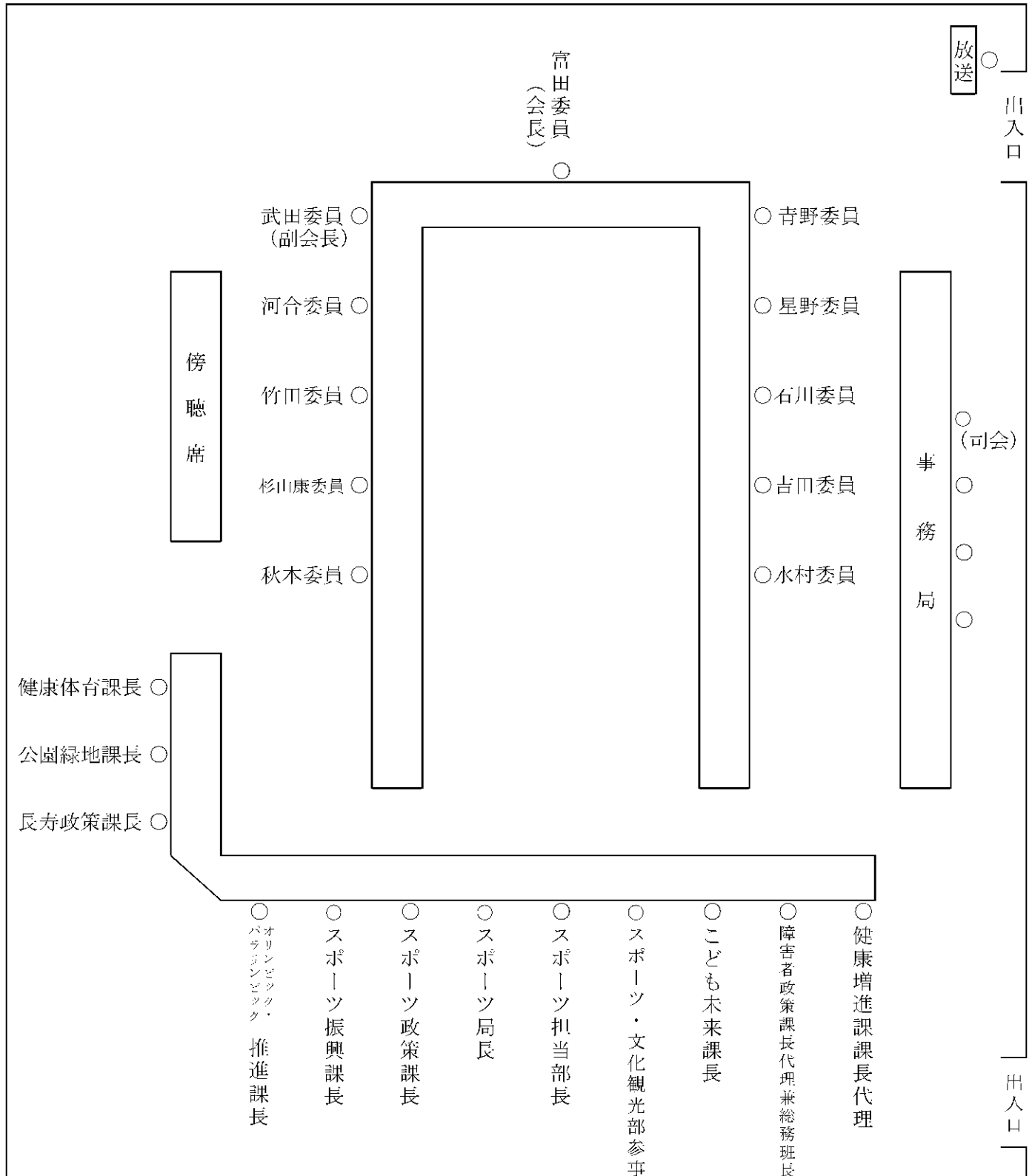
## 次 第

- 1 開会
- 2 挨拶（静岡県スポーツ担当部長）
- 3 審議事項等
  - (1) 諮問事項の説明 資料1
  - (2) 静岡県スポーツ推進計画策定に関する説明
    - ・ 現行計画の概要と進捗状況 資料2
    - ・ 国の第3期スポーツ基本計画策定状況 資料3
  - (3) 審議
    - ・ 次期計画の計画期間(目標年次)について 資料4
    - ・ 次期計画の体系案(骨子)について 資料5
    - ・ 検討体制について 資料6
  - (4) 意見交換  
「大規模国際大会のレガシーを踏まえたスポーツ推進のあり方」
- 4 報告事項
  - ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック開催準備状況 資料7
  - ・ 地域部活動の推進について 資料8
- 5 今後の予定
- 6 閉会

### 《添付資料》

- 資料1 静岡県スポーツ推進審議会諮問事項
- 資料2 第2期静岡県スポーツ推進計画の概要と進捗状況
- 資料3 国の第3期スポーツ基本計画の策定について
- 資料4 計画期間について(案)
- 資料5 今後のスポーツ局の施策体系(案)
- 資料6 スポーツ推進審議会における分野別の審議体制及び構成委員(案)
- 資料7 東京2020オリンピック・パラリンピック開催準備状況
- 資料8 部活動改革推進事業
- 資料9 令和2年度第2回静岡県スポーツ推進審議会発言要旨・対応状況
- 資料10 静岡県スポーツ推進審議会条例

令和3年度第1回静岡県スポーツ推進審議会  
座席表



令和3年度第1回 静岡県スポーツ推進審議会 委員名簿

NO.	氏名	性別	役職及び 期数	職業	出席
1	トミタ ヒサト 富田 寿人	男	会長 4	静岡理工科大学 教授	○
2	タケノ トキミ 武田 知己	男	副会長 2	静岡県高等学校体育連盟 会長	○
3	カワノ ニウノチ 河合 祐	男	新	静岡県中学校体育連盟 会長	○
4	イフミズ モトエ 岩水 素江	女	2	特定非営利活動法人菊川市体育協会 会長	
5	タカムラ ケンジ 高村 謙二	男	2	裾野市長	
6	タケダ リエ子 竹田 利恵子	女	3	静岡県スポーツ推進委員連絡協議会 副会長	○
7	スギヤマ カツヒデ 杉山 克秀	男	2	静岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長	
8	スギヤマ コウジ 杉山 康司	男	4	国立大学法人静岡大学 教授	○
9	アキモト ケイ子 秋本 啓子	女	2	静岡県立静岡視聴覚特別支援学校指導員	○
10	スズキ ヨシノ 鈴木 義乃	女	4	静岡県レクリエーション協会 事務局長	
11	アヲノ ヒロコ 青野 宏子	女	1	鳥山市レクリエーション協会 理事 静岡県ミニトランポウウォーク協会副会長兼事務局長	○
12	オギタ マサヒロ 荻田 雅宏	男	2	株式会社静岡新聞社 取締役編集局長	
13	ホシノ アキヒロ 星野 明宏	男	1	静岡聖光学院中学校・高等学校 校長	○
14	テト ダイスケ 甲 大輔	男	1	静岡県ラグビーフットボール協会強化ダイレクター	
15	オキ ミホ 沖 美穂	女	1	公益財団法人JKA シドニー、アテネ、 北京オリンピック 個人ロードレース日本代表選手	
16	イシカワ ケイイチロウ 石川 恵一朗	男	3	公益財団法人静岡県スポーツ協会 専務理事	○
17	ヤマモト マサタケ 山本 昌邦	男	3	一般財団法人静岡県サッカー協会 副会長	
18	ヨシダ リオリ 吉田 早織	女	1	常葉大学 准教授	○
19	ミズムラ タマオ 水村 珠青	女	4	卓薙整形外科リウマチクリニック 医師	○

## 庁内出席者

職名	氏名
静岡県スポーツ担当部長	広岡 健一
静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ局長	高倉 健二
静岡県スポーツ・文化観光部参事 (オリンピック・パラリンピック担当)	鈴木 学
静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ局スポーツ政策課長	大石 哲也
静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ局スポーツ振興課長	高松 央
静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ局 オリンピック・パラリンピック推進課長	横井 志伸
静岡県健康福祉部福祉長寿局長寿政策課長	加藤 克寿
静岡県健康福祉部子ども未来局子ども未来課長	鈴木 安由美
静岡県健康福祉部障害者支援局障害者政策課 課長代理兼総務班長	増田 泰三
静岡県健康福祉部健康局健康増進課長代理	中村 大輔
静岡県交通基盤部都市局公園緑地課長	伊東 信幸
静岡県教育委員会健康体育課長	近藤 浩通

## 事務局

職名	氏名
静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ政策課長代理	秋定 正法
静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ局付主幹 兼スポーツ政策課企画班長	鈴木 康弘
静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ振興課 地域スポーツ班長	水野 誠
静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ振興課 競技スポーツ班長	幾留 純二

## 静岡県スポーツ推進審議会 諮問事項

### 1 諮問事項

次期「静岡県スポーツ推進計画」の策定について

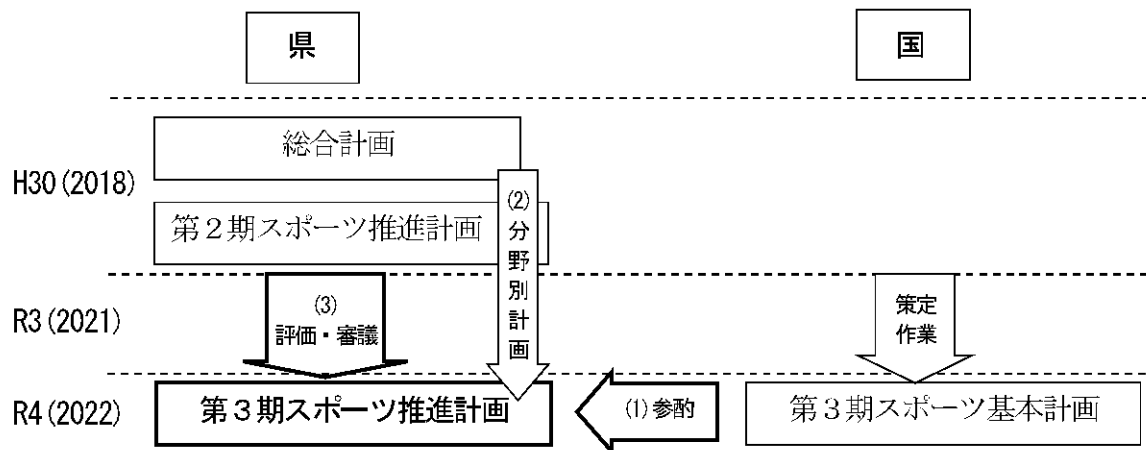
### 2 諮問理由

平成 29 年度末に改定した現在の第 2 期「静岡県スポーツ推進計画」は本年度までを計画期間としている。

また、スポーツ基本法において、県は国の「スポーツ基本計画」を参酌して、その地方の事情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めることとされており、現在、国において第 3 期「スポーツ基本計画」の策定作業が進められている。

このことから、本審議会において、現在の「静岡県スポーツ推進計画」の進捗状況を評価しつつ、国の第 3 期「スポーツ基本計画」を参酌して、次期「静岡県スポーツ推進計画」の策定に向けた審議をお願いする。

### 3 静岡県スポーツ推進計画の位置づけ



- (1) スポーツ基本法に基づき、国としてのスポーツ推進の基本的な方向性を示す計画である、第 3 期「スポーツ基本計画」を参酌。
- (2) 静岡県総合計画の分野別計画として策定。
- (3) 現行の「静岡県スポーツ推進計画」の進捗評価や「静岡県スポーツ推進審議会」の答申を踏まえながら策定。

### 4 策定に係る基本方針

- ・ 国の第 3 期「スポーツ基本計画」を参酌しつつ、本県の特性及び実情に合わせ策定する。
- ・ 現計画の評価や、上位計画である静岡県総合計画の方針を踏まえ目標値を設定する。
- ・ 静岡県、市町の行政機関、スポーツ関係団体、企業、学校、地域、家庭など、社会全体でスポーツ推進に取り組む方向性を提示する。

## 5 見直し体制

- ・ 静岡県スポーツ推進審議会条例第2条に基づき、静岡県スポーツ推進審議会に諮問。
- ・ **次期「静岡県スポーツ推進計画」の体系案の柱毎に、特定テーマを設定し論議をいただく体制**で審議。
- ・ スポーツ基本法第10条2項に基づき、県教育委員会の意見を聴く。
- ・ 策定にあたり、教育部健康体育課、健康福祉部（障害者政策課、健康増進課、長寿政策課）、経済産業部（商工振興課）、交通基盤部（公園緑地課）等の関係部局と連携し、協議する。

## 6 想定作業スケジュール

	審議会等	予定内容
7月2日	第1回スポーツ推進審議会（諮問）	諮問
9～11月	分野別部会	
12月	第2回スポーツ推進審議会（中間報告）	原案提示 12月議会報告
1月	県民意見募集（パブリック・コメント）	県民意見反映
3月	第3回スポーツ推進審議会（建議案審議） 次期計画の公表	最終案提示

## 第2期

## 静岡県スポーツ推進計画

## スポーツの聖地づくり

## (1) スポーツ参画人口の拡大

指 標	H30	R元	R2	目標値
成人の週1回のスポーツ実施率	52.9%	54.5%	57.7%	65%
新体力テストが全国平均を上回る割合	68.6%	59.3%	65.7%	100%

## 【ポイント】

- ・ 乳幼児期から高齢期まで、ライフステージに応じたスポーツ参画機会を提供
- ・ スポーツ実施率が低い人たち（ビジネスパーソン、スポーツ嫌いの子など）が気軽に参加できる運動機会提供を促進

## (2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

指 標	H30	R元	R2	目標値
県立水泳場及び富士水泳場の利用者数	303千人	283千人	207千人	310千人以上
県立武道館の利用者数	305千人	249千人	71千人	310千人以上

## 【ポイント】

- ・ 子供へのスポーツ機会の提供に向け、学校と地域相互の人材が連携
- ・ 中間支援組織の設立等による地域スポーツクラブの体制強化や、自立的な活動の促進支援

## (3) スポーツを通じた多様性のある社会の実現

指 標	H30	R元	R2	目標値
静岡県障害者スポーツ大会への参加者数	2,930人	2,902人	454人	3,500人
成人女性の週1回のスポーツ実施率	52.9%	52.8%	51.5%	65%

## 【ポイント】

- ・ 障害のある人、女性など、スポーツ参加への配慮が必要で、今まで機会が少なかった人の参画を推進

## (4) スポーツを通じた地域の活性化

指 標	H30	R元	R2	目標値
スポーツ・レクリエーション交流人口	2,693万人	2,703万人	2,588万人	3,500万人
東京2020オリ・パラ運営ボランティア登録者数	962人※	852人※	924人※	2,500人

※は都市ボランティアの人数。大会ボランティアは別途集計（R2.3以降役割及び会場が決定）

## 【ポイント】

- ・ ラグビーワールドカップ2019や、東京2020オリンピック・パラリンピックなどを契機にスポーツを通じた交流人口拡大や関連産業の振興に取り組み、地域を活性化

## (5) 競技力の向上

指 標	H30	R元	R2	目標値
国民体育大会における総合成績	19位	17位	延期	8位
東京オリ・パラ出場の本県関係者数	—	—	—	85名以上

## 【ポイント】

- ・ ジュニアからトップレベルまでの体系的な人材育成とスポーツ環境の整備
- ・ トップアスリートのセカンドキャリアを経済界、競技団体と連携して支援

## (6) クリーンでフェアなスポーツの推進

## 【ポイント】

- ・ コンプライアンスやスポーツ団体のガバナンス強化とドーピングの防止

# スポーツの聖地づくり 概要版

## 1 スポーツの聖地づくりの推進体制

多くの部局が関与する複合的な領域であるスポーツ行政を部局横断で総合的に推進

○計画概要(H29策定)

名称	第2期静岡県スポーツ推進計画
位置付け	・国のスポーツ基本計画を参酌し地方の実情に即して策定 ・静岡県新ビジョンの分野別計画
基本理念	「スポーツの聖地づくり」 競技力向上、参画人口の拡大、人材と場の確保、地域活性化

○スポーツの聖地づくり総合推進プロジェクトチーム

設立趣旨	基本理念「スポーツの聖地づくり」を実現するため、目標に向けたイメージ共有と、施策推進に必要な調整を行う
構成員	プロジェクトリーダー：出野副知事 土屋特別補佐官 タスクフォース(TF)リーダー：スポーツ担当部長 構成員：関係局長
R2年度開催実績	実務者会議(10月)：R3当初予算調整 TF会議(3月)：取組状況等を共有

## 2 スポーツ推進計画指標の状況

○「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は、成人女性の週1回のスポーツ実施率は、目標値65%に向け、進捗に遅れが見られる。  
○「県庁舎者スポーツ大会への参加者数」や「県立水泳場等の利用者数」、「スポーツ刈刈エーション交流人口」は、RWC2019の成功、東京オリンピックを控え、県民のスポーツに対する関心や意欲が高まったが、コロナ禍により県内スポーツ大会が中止したこと等から減少  
○「国民体育大会における総合成績」は、元年度は17位となり、向上が見られたものの強化・育成途上にある。

TF	課題分野	目標値	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度目標値	評価
I	参画人口の拡大	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.5%	57.7%	65.0%	↗
	多様性のあふ社会の実現	新体力テストの記録が全項目において、全国平均を上回る割合	59.3%	65.7%	100%	↗
		静岡県障害者スポーツ大会への参加者数	2,902人	454人	3,500人	↗
	「人材と場」の充実	成人女性の週1回のスポーツ実施率	52.8%	51.5%	65.0%	↗
県立水泳場及び富士水泳場の利用者数		303千人	R元 284千人	310千人	↗	
II	「人材と場」の充実	県立武道館の利用者数	305千人	R元 250千人	310千人	↗
		スポーツ刈刈エーション交流人口	2,708万人	R元 2,589万人	3,500万人	↗
	地域の活性化	東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催期間中の登録者数	852人	R3.1月 924人	2020年度 2,500人	↗
IV	競技力の向上	国民体育大会における総合成績	17位	-	8位以内	-
		東京2020オリンピック出場の本県関係者数	-	-	五輪50、 パラ55	-

## 3 各タスクフォースの主な取組 (令和2年度)

### TF1 参画人口の拡大

- 東京2020公認プログラム『静岡県ブレードランニングクリニック』
- 高校活動等へのスポーツエキスパート派遣
- すこやか長寿スポーツ文化交流大会実施・ねんりんピックへの静岡県代表選手派遣
- 令和2年度わかぶしスポーツ大会の開催
- 静岡県障害者スポーツ大会等の開催等



ブレードランニングクリニック

### TF2 人材と場の充実

- トップアスリート等を中学校部活動へ派遣
- スポーツ施設、各学校の施設管理運営費による適正管理
- 県営都市公園の適正管理
- 指定管理者によるスポーツ施設での教室等の充実
- 小笠山運動公園でのラグビー環境の整備



トップアスリート派遣

### TF3 地域活性化

- 台借誘致の推進を通じ県スポーツに関する静岡ブランドのセールス方法確立
- RWC2019静岡開催による有形・無形の成果をレガシーとして次世代に継承
- オメガレガシーの推進(トレーニングイベント構想、国際大会の誘致など)



スポーツ合宿度々出版

### TF4 競技力の向上

- 医科学(準高地)の活用、ICTを活用した競技力強化
- 雇用された選手が活動しやすい環境づくりの支援
- 世界クラスの指導者の招聘による指導者資質向上及び指導者体制強化



ICTを活用した競技力向上